

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

# “学びをつなげる学校” だより

令和7年 12月 23日

【文責 校長 佐藤容子】



↑ ホームページもご覧ください。



↑ istagram 始めました！フォローお願いします。

## 人とつながいながら一人一人成長した2学期！

目指す姿“人とのかかわりを楽しみながら、自分らしくたくましく進んでいく子”

2学期78日間。いろいろな場面で子どもたちの光る姿が見られました。何といたっても全校行事である学習発表会は、全ての子どもたちが主役になるステージでした。来校者からのアンケートでは、上級生が下級生を思いやるような縦のつながりがある本校の良さを感じ取ってくださった方からの嬉しい感想も多くいただきました。本校の素敵な伝統だと感じました。12月には幼稚部から中学部まで、マラソンや持久走の取組がありました。頑張るお子様の応援に駆けつけていただきありがとうございました。感染症も気になる季節の中でしたが、それぞれ、目標をもちながら自分のペースで挑戦する姿がたくましかったです。

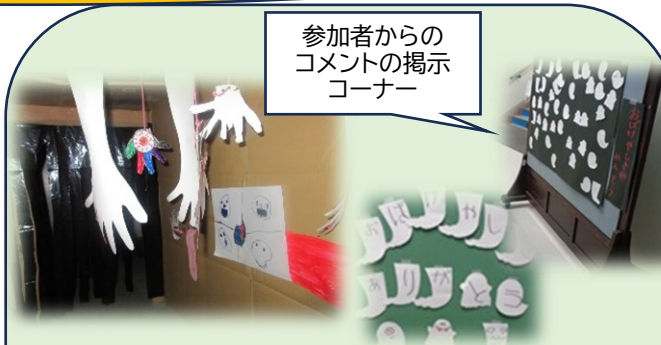
その他にも2学期は、家族参観日や地域の園、学校、中村町の方との交流や、多くの来校者との関わりなど、人と関わる活動が多くありました。デフリンピックの開催期間、卒業生という身近な先輩が世界で活躍する姿を応援する貴重な体験もできました。本校は、少人数体制ですが、幼稚部から中学部までの子どもたちと、教育相談の乳幼児さんや放課後通ってくる通級生まで幅広い子どもたちがつながれる環境があります。人との関わりの中で、人とつながる経験で子どもたちは成長します。こうした学びの場をこれからも大事にしていきたいと感じる2学期でした。

子供たちの見守りや後押し等、御家庭からの御支援ありがとうございました。

### 縦のつながりのある活動が盛りだくさん！



2学期のスポーツディ(昼休みの遊び)では、幼稚部、小学部、中学部の縦割り4チーム対抗でのポッチャ大会を行いました。どのチームも、上級生が優しく声をかけてくれます。ルールを熟知している幼稚部さん。高得点が出るとみんなからの拍手喝さいを受け、満足げでした。対戦期間4か月の中で、チームの絆も生まれました!!



参加者からのコメントの掲示コーナー

幼稚部ゆり組さんによる“おばけやしき”の活動。教室は、入り口からお化けトンネルが続き、口裂け女やフランケンシュタインが潜む真っ暗な空間になりました。幼稚部だけでなく、休み時間には、涙目になる小学生や、「怖くてかわいいお化けだったよ。」と感想を書く中学生まで、みんな楽しんでました。ゆり組さん、楽しい企画をありがとう!!



小学部1年生の“ゲームランド”でも、休み時間に幼稚部から中学部まで招待してくれました。ドングリを使った手作りの魚釣り、こま、けん玉、やじろべえ、迷路などの遊びコーナー。各コーナーでは、1年生が1人ずつ丁寧に説明してくれました。初めて遊ぶ幼稚部さん、自身も経験してきた事を懐かしみながら遊ぶ上級生たち。笑顔や笑い声が飛び交う時間でした。



生徒会企画“中村町の方と中学生との交流会”  
中村町の7人の方を御招待、ペアになってクイズ大会（手話での回答）やボッチャのビンゴ、茶話会など、和やかな雰囲気を楽しみました。「いつもと違う価値観に触れたことは、卒業した後にも役に立つと感じた。」という生徒の感想のように、温かい地域の方との触れ合いの経験が、ずっと引き継がれていけたらいいと感じました。また、子どもたちが将来、そんな大人になったら素敵ですね!!

## 地域の人たちとのつながり



NEXCO 中日本からいただいた、パンジーやビオラなど花の苗320株を、呼びかけにに応じていただいた中村町の“静聾サポーター”6人の力をお借りして、東側花壇に植えました。植えきれなかった分は中学生がプランターにも植えてくれました。おかげで、畑が花いっぱいの花壇に変身しました。子どもたちは毎朝、花壇を横目に見ながら登校できます。花の苗を提供いただいた NEXCO の方、花植えを協働いただいた中村町の方々に感謝の思いです。温かい地域の方に支えられ、地域との温かい関わりの中で、子どもたちの優しい心が育まれています。



完成した東側 花壇

